

原子力防災対策を充実・強化しています

県では、川内原子力発電所に係る県民の皆さまの安心・安全を確保するため、専門委員会※の開催や大規模な原子力防災訓練の実施をはじめ、避難用福祉車両の配備や避難道路の改善、モニタリングポストや地震計の増設、安定ヨウ素剤の事前配布・配備、環境放射線監視センターの設置など、さまざまな取り組みを行っています。

引き続き、皆さまの安心・安全のために原子力防災対策の充実・強化に全力で取り組んでいきます。

※鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会

専門委員会の開催

川内原発の安全性や避難計画などについて、技術的・専門的な立場から意見、助言をいただいています。

また、県民の皆さまへの分かりやすい情報発信に努めています。



原子力防災訓練の実施

2月9日
5千人規模の
訓練を実施

毎年度訓練を実施し、関係機関の連携強化や地域住民の防災意識の向上を図っています。

また、訓練での教訓を踏まえて、避難計画の見直しも行っています。



九州電力への特別要請に基づく避難支援



- 高齢者や障害者が円滑に避難するための避難用福祉車両の配備
- 避難道路の改善（側溝ふたの設置、Uターン場所の確保）
- 地震活動状況を把握するための地震計の増設

安定ヨウ素剤の事前配布・配備



原子力災害に備えて、放射性ヨウ素による内部被ばくを抑える効果がある「安定ヨウ素剤」を、原発周辺の住民や施設などへ事前配布・配備しています。

環境放射線監視センターを新たに設置

平成30年10月、環境放射線監視センターを新築・移転し、薩摩川内市と鹿児島市に分散していた機能を統合して監視体制の充実を図りました。

また、モニタリングポストを33局追加し、合計100局体制としました。



環境放射線監視センター

原子力災害時の情報伝達・輸送対策

- 原子力災害時の避難経路などの情報を速やかに提供するアプリを開発（令和3年度完成予定）
- 平成31年2月、県タクシー協会と災害時における人員や物資などの緊急輸送に関する協定を締結



問い合わせ先 県庁原子力安全対策課 ☎099(286)2377 FAX 099(286)5925 県庁保健医療福祉課 ☎099(286)2666 FAX 099(286)5550

全国トップクラスの再生可能エネルギー県を目指して

県では、温泉や森林などの多様で豊かな地域資源を生かし、再生可能エネルギーの導入を促進していくため、「再生可能エネルギー導入ビジョン2018」を策定し、全国トップクラスの供給量を目指してさまざまな取り組みを行っています。

これらの取り組みにより、原発に頼らない社会づくりに向けた歩みを少しずつ進めていきます。

県内で再生可能エネルギーが広がっています

県内において、再生可能エネルギーを活用する発電所が増えてきています。

木質資源を
活用

セツ島バイオマス発電所 (鹿児島市)



- 令和元年5月全面運転開始
- 燃料として、パーム椰子殻、木質ペレット、県内間伐材を使用



水の力を
活用

川辺ダム小水力発電所 (南九州市)

- 平成31年2月運転開始（県整備）
- 川辺ダムから放流する河川の水を活用し、管理用電力を自給するほか、余剰電力を売電

地熱を
活用

山川バイナリー発電所 (指宿市)



- 平成30年2月運転開始
- 一度発電に利用した熱水を有効活用

世界が注目！水素エネルギー

水素エネルギーって？

水素は、水などの形で地球上にほぼ無尽蔵に存在し、エネルギーとしての使用時にCO₂を排出しないため、**環境にやさしい究極のエネルギー源**として世界中で注目されています。

取り組み紹介

燃料電池自動車の導入支援

水素を燃料とする燃料電池自動車の購入費を民間事業者に対し一部助成



燃料電池自動車「MIRAI」

水素ステーションの整備支援

水素ステーション(水素を燃料電池自動車に供給)の整備費を一部助成



水素ステーション完成イメージ図

問い合わせ先 県庁エネルギー政策課 ☎099(286)2431 FAX099(286)5686